

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第185号（8. 3. 10） 六甲病院の移転中止と灘区の地域医療を守ることを求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 灘区の地域医療を守り、住民に安全で持続可能な医療の提供を続けるため、神戸市は医療法人若葉会に対し、六甲病院の東灘区への移転を中止するように強く働きかけを行うこと</p> <p>2. 灘区の地域医療を守るため、万一六甲病院が移転した後も、当該地域に医療機関を設置する努力をすること</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市灘区 「ストップ！六甲病院移転の会」 代表 奥村 礼子</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>福祉環境委員会</p>

2026年 3 月 10 日

神戸市会議長 様

(住所) 神戸市灘区

(氏名) 「ストップ!六甲病院移転の会」

代表 奥村 礼子



六甲病院の移転中止を求め、灘区の地域医療を守ることを求めることに関する陳情

【陳情趣旨】

六甲病院は2021年(令和3年)国家公務員共済組合連合会から医療法人若葉会へ事業譲渡されました。公的病院から民間病院になるということで、地域住民からは民間病院で地域医療が守られるのかという懸念の声が上がり約16,000もの署名も集まりました。しかし、その声を押し切り、六甲病院は民間へ事業継承されました。事業継承に際して、医療法人若葉会は当時神戸市に設置された「保健医療審議会医療専門分科会」で、①安全で持続可能な医療の提供、②住民に求められる医療の提供、③地域医療支援をあげ、事業継承された後も地域が求める役割を果たしていくと述べていました。しかし、今回この約束を反故にして、2029年に東灘区深江地域(本庄町)へ移転しようとしています。

これに対し、東灘区の6病院は、六甲病院が灘区において行ってきたこれまでの医療・介護の提供がなくなることへの地域への影響も検討すべきとの意見を表明しました。

しかし神戸市は、この移転に関して「病院の設置場所は、病院自らが確保・決定すべきもの」と民間任せにしています。

六甲病院は近隣の地域の住民一特に高齢の方も多く利用しており、東灘区へ移転したら、通院できなくなるという不安の声が多くあがっています。

私たちは、灘区地域の医療をまもるため、神戸市が医療法人若葉会に対し、六甲病院の東灘区への移転を中止するよう強くはたきかけを行うことを求めます。

以下の事項について陳情いたします。

【陳情事項】

1. 灘区の地域医療を守り、住民に安全で持続可能な医療の提供を続けるため、神戸市は医療法人若葉会に対し、六甲病院の東灘区への移転を中止するよう強く働きかけを行うこと
2. 灘区の地域医療を守るため、万一六甲病院が移転した後も、当該地域に医療機関を設置する努力をすること